

# 2018年3月期 IR資料

いい暮らし、いいあした。

***Axial***  
RETAILING

# ご説明する内容

1. 業績の概要
2. アクシアルのめざすもの
3. 原信ナルス e<sub>x</sub>press market
4. プロセスセンター新設
5. 今期の業績予想

# 1. 業績概要

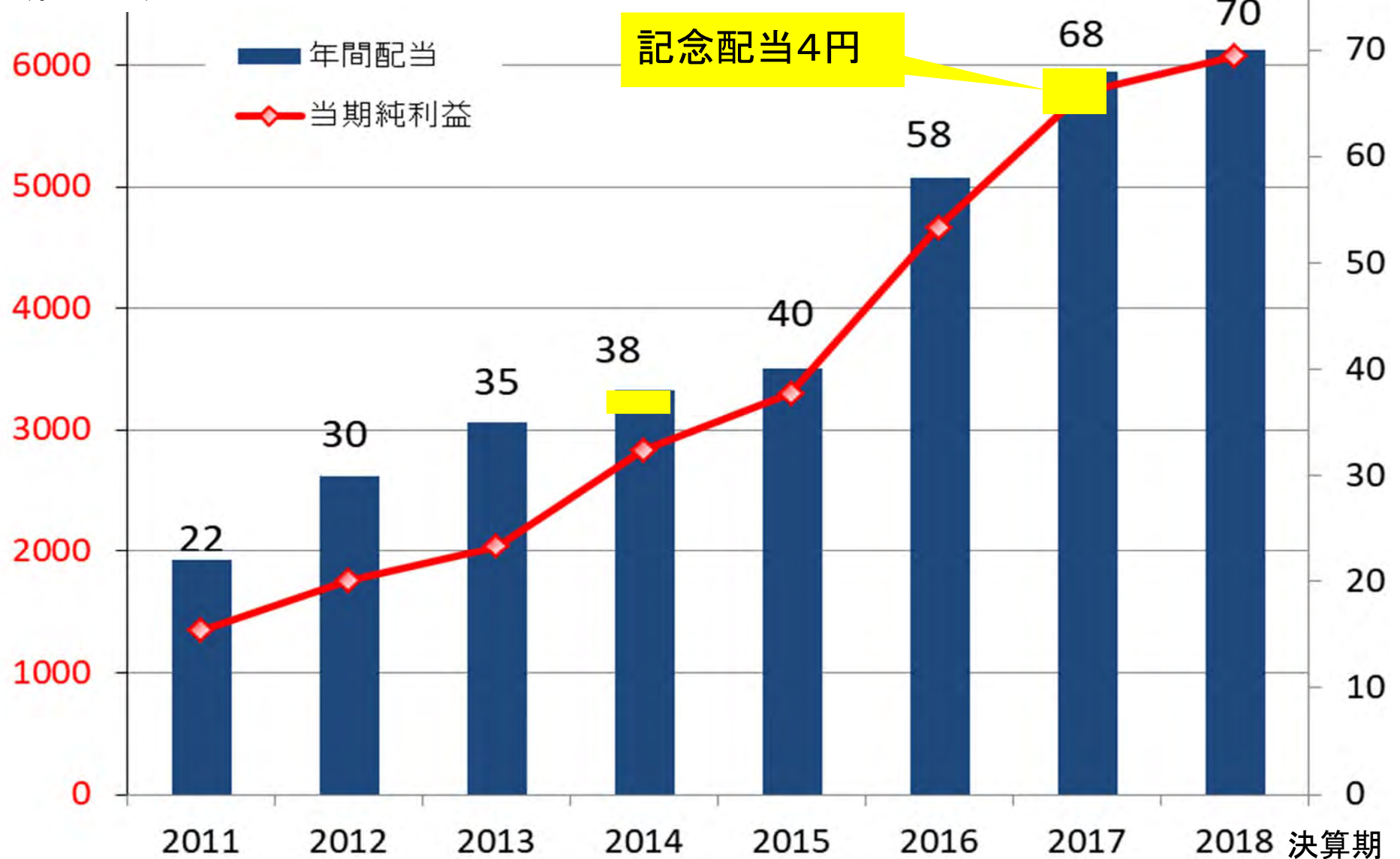
(単位:百万円)

項目	2017/3期	2018/3期	増減率	備考
売上高	228,899	232,810	+1.7%	新店3閉店2、既存店△0.2%
売上総利益	62,814 (27.4%)	66,150 (28.4%)	+5.3%	F物流センター寄与 (原価→販管費へ995百移動) 時間ごとの製造マネジメント
販管費	53,761 (23.4%)	57,082 (24.5%)	+6.2%	F物流センター軌道化 H社会保険適用拡大
営業利益	9,053	9,068	+0.2%	予想93億円
経常利益	9,185 (4.0%)	9,205 (4.0%)	+0.2%	予想93億円
当期純利益	5,784	6,070	+4.9%	予想58億円
1株当たり配当	68	70	+2	予想68
ROA	9.7%	9.4%	△0.3%	経常利益/総資産(平均)
開店店舗数	4	3	新店:F上並榎(高崎市)H巻(新潟市) H城岡(長岡市) 閉店:F並榎(高崎市)N西新町(長岡市)	
閉店店舗数	3	2		

# 配当推移

純利益  
(百万円)

1株当たり年  
間配当(円)



# 前期新店



H 巻(11月)



H 城岡(3月)



新潟県

群馬県



F 上並榎(9月)

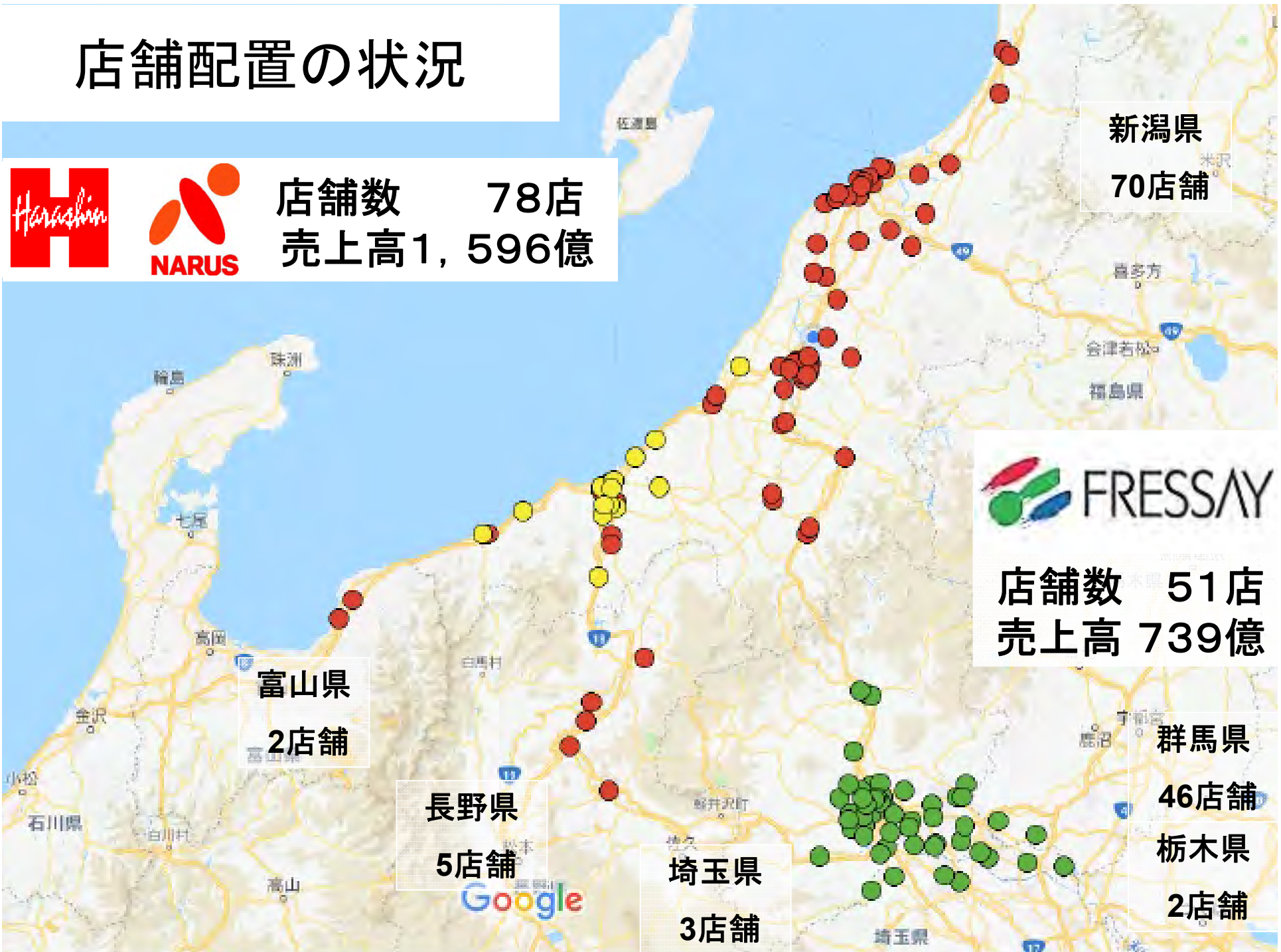
# 前期改装



# 店舗配置の状況



店舗数 78店  
売上高 1,596億



新潟県  
70店舗



店舗数 51店  
売上高 739億

富山県  
2店舗

長野県  
5店舗

埼玉県  
3店舗

群馬県  
46店舗  
栃木県  
2店舗

# 食品スーパー売上高ランキング(公開企業)

(単位:百万円)

1	東京	U.S.M.H	692,248	14	福岡	マックスバリュ九州	175,211
2	東京	ライフコーポレーション	677,746	15	北海道	マックスバリュ北海道	125,951
3	岐阜	バロー HD	544,020	16	兵庫	関西スーパーマーケット	122,713
4	北海道	アークス	513,955	17	岡山	ハローズ	121,359
5	埼玉	ヤオコー*	414,992	18	東京	エコス	117,331
6	広島	マックスバリュ西日本	276,313	19	山形	ヤマザワ	114,303
7	和歌山	オークワ	268,650	20	愛知	アオキスーパー	106,190
8	東京	いなげや	254,874	21	秋田	マックスバリュ東北	105,303
9	新潟	アクシアル リテイリング	232,810	22	愛知	ヤマナカ	100,106
10	山口	リテールパートナーズ	228,982	23	東京	東武ストア	83,661
11	静岡	マックスバリュ東海	225,600	24	富山	アルビス	82,312
12	埼玉	ベルク	211,395	25	北海道	北雄ラッキー	41,711
13	愛知	マックスバリュ中部	178,347	26	香川	マルヨシセンター	40,528



# 食品スーパー経常利益ランキング(公開企業)

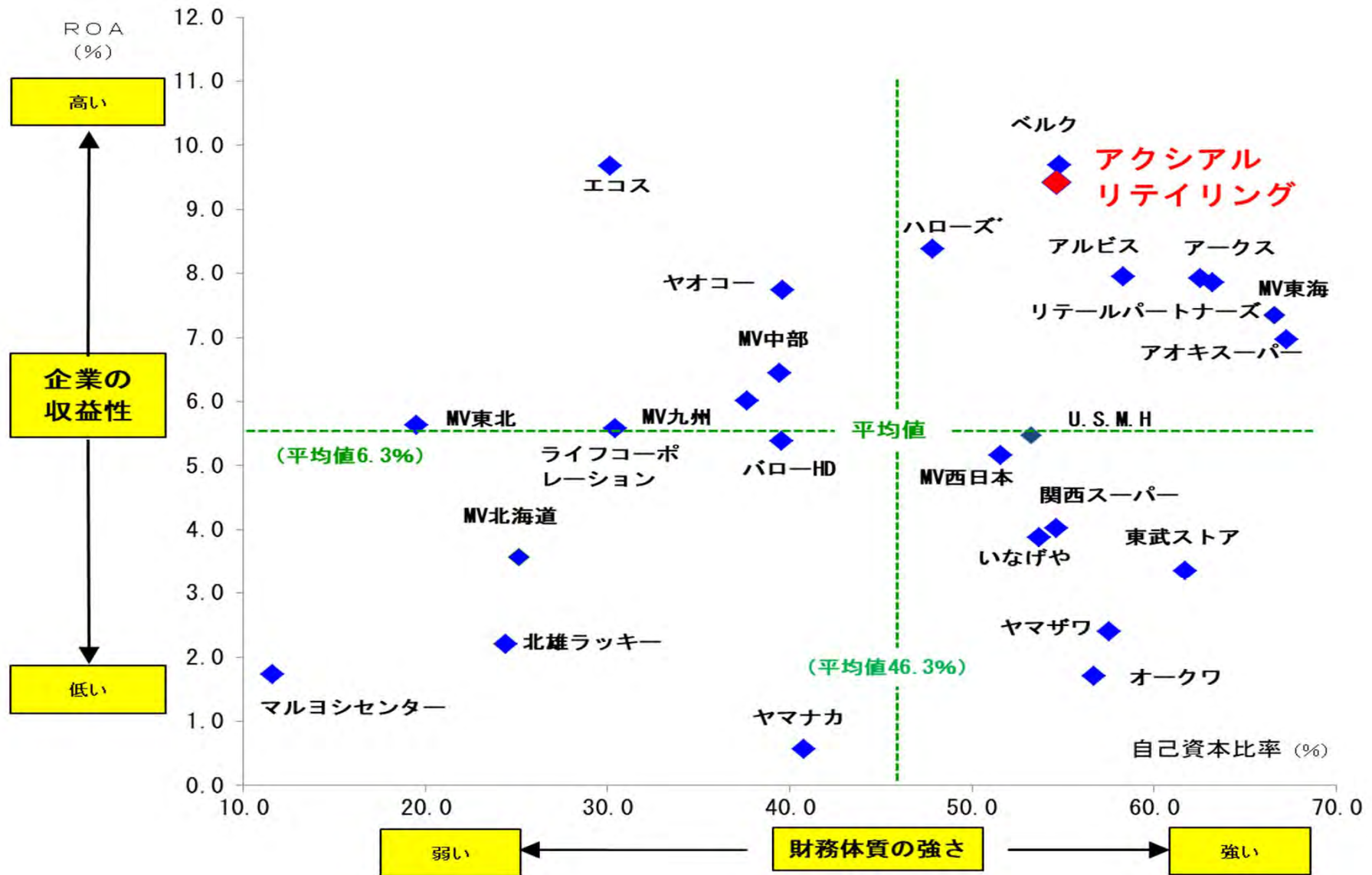
経常利益高 ランキング (百万円)

経常利益率 ランキング (%)

1	埼玉	ヤオコー	16,528
2	北海道	アークス	16,366
3	岐阜	バロー HD	14,937
4	東京	U.S.M.H	14,188
5	東京	ライフコーポレーション	12,550
6	埼玉	ベルク	9,963
7	新潟	アクシアル リテイリング	9,205
8	山口	リテールパートナーズ	6,181
9	静岡	マックスバリュ東海	5,246
10	広島	マックスバリュ西日本	4,978
11	岡山	ハローズ	4,897
12	東京	いなげや	3,844
13	東京	エコス	3,815

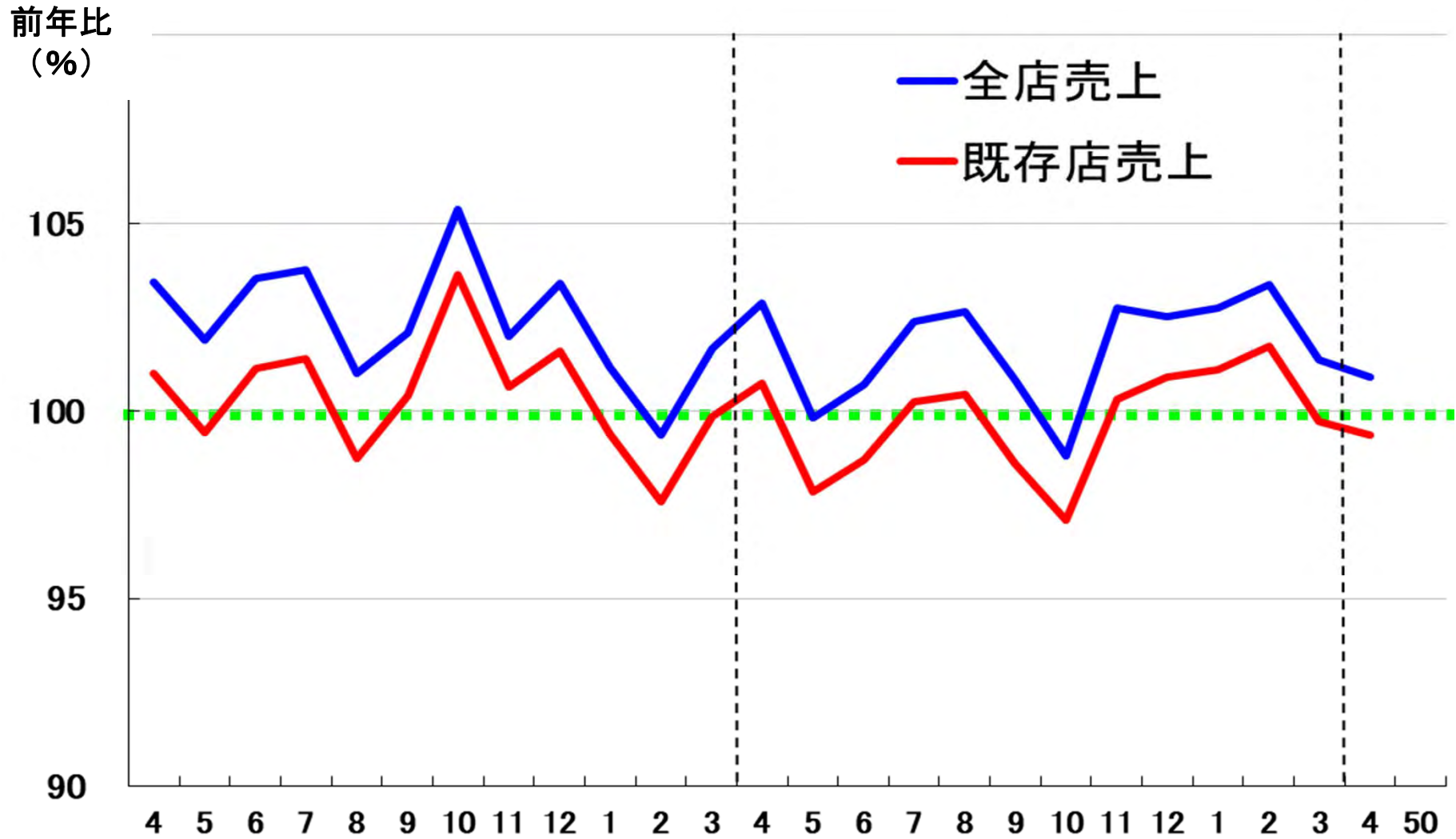
1	埼玉	ベルク	4.7
2	岡山	ハローズ	4.0
3	埼玉	ヤオコー	4.0
4	新潟	アクシアル リテイリング	4.0
5	富山	アルビス	3.9
6	東京	エコス	3.3
7	北海道	アークス	3.2
8	岐阜	バロー HD	2.7
9	山口	リテールパートナーズ	2.7
10	静岡	マックスバリュ東海	2.3
11	東京	U.S.M.H	2.0
12	兵庫	関西スーパーマーケット	1.9
13	東京	ライフコーポレーション	1.9

# 食品スーパーマーケットのROAと自己資本比率



「いちよし経済研究所」様作成の図表をアップデート)

# 売上高前年比の動向



# 参考：グループ別の業績推移

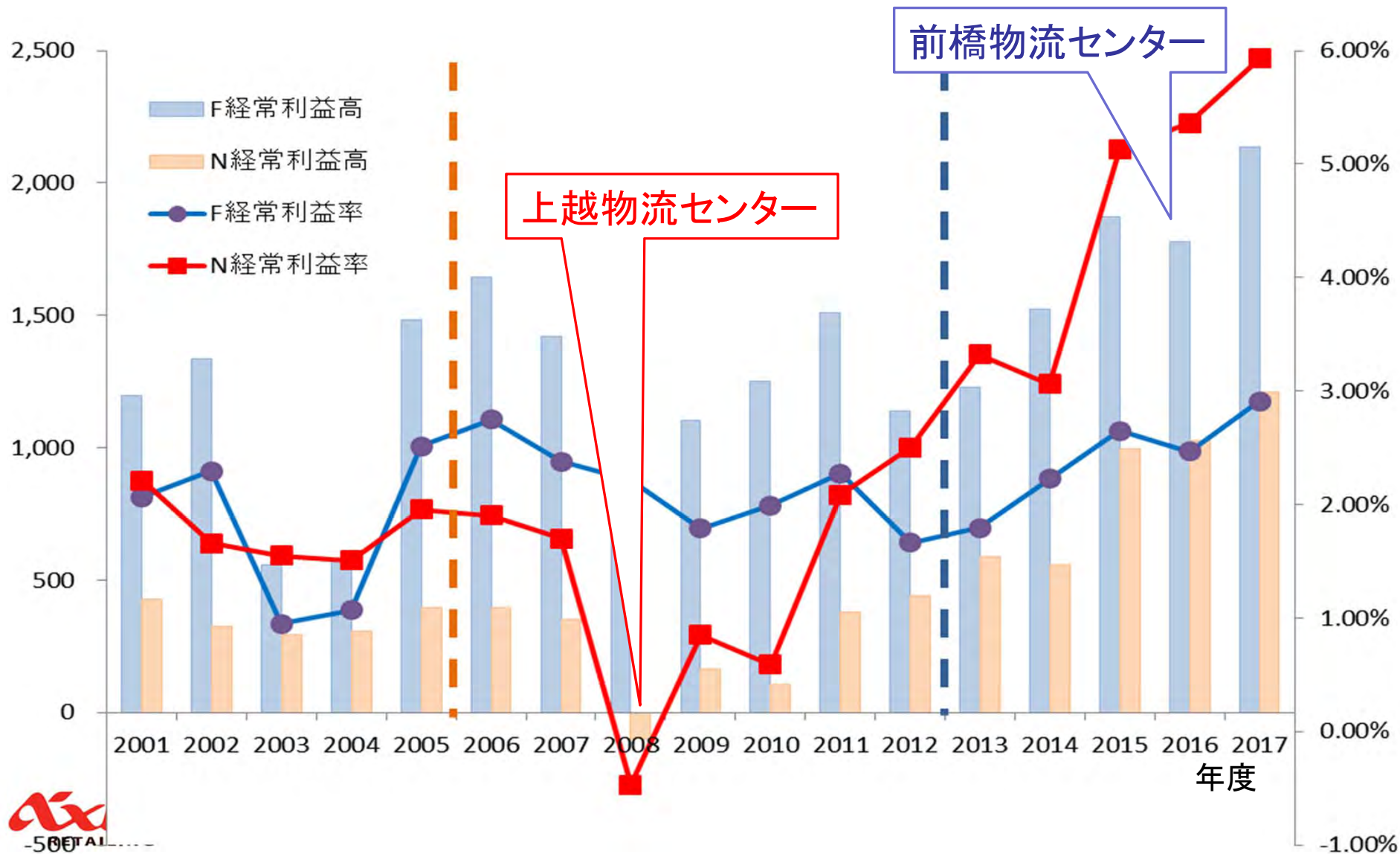
(単位：百万円、増減率は%)

	原信ナルス			フレッセイ		
	2018/3期	増減率	増減額	2018/3期	増減率	増減額
売上高 (既存店)	159,632	+2.1% (△0.1%)	+3,262	73,856	+1.1% (△0.3%)	+822
売上総利益	44,358 (27.8%)	+3.5%	+1,505	21,961 (29.7%)	+9.4%	+1,878
販管費	37,553 (23.5%)	+5.1%	+1,833	19,758 (26.7%)	+8.5%	+1,543
営業利益	6,804 (4.3%)	△4.6%	△328	2,203 (3.0%)	+17.9%	+335
経常利益	6,911 (4.3%)	△4.4%	△315	2,220 (3.0%)	+17.7%	+334
純利益	4,724 (3.0%)	△2.5%	△120	1,501 (2.0%)	+55.6%	+536

# 参考：ナルス・フレッセイ 経常利益の推移

経常利益高(百万円)

経常利益率





# フレッセイ SM創業60周年





# フレッセイ 倉賀野西店

2018年3月23日改装開店





# フレッセイ 倉賀野西店







# フレッセイ 倉賀野西店





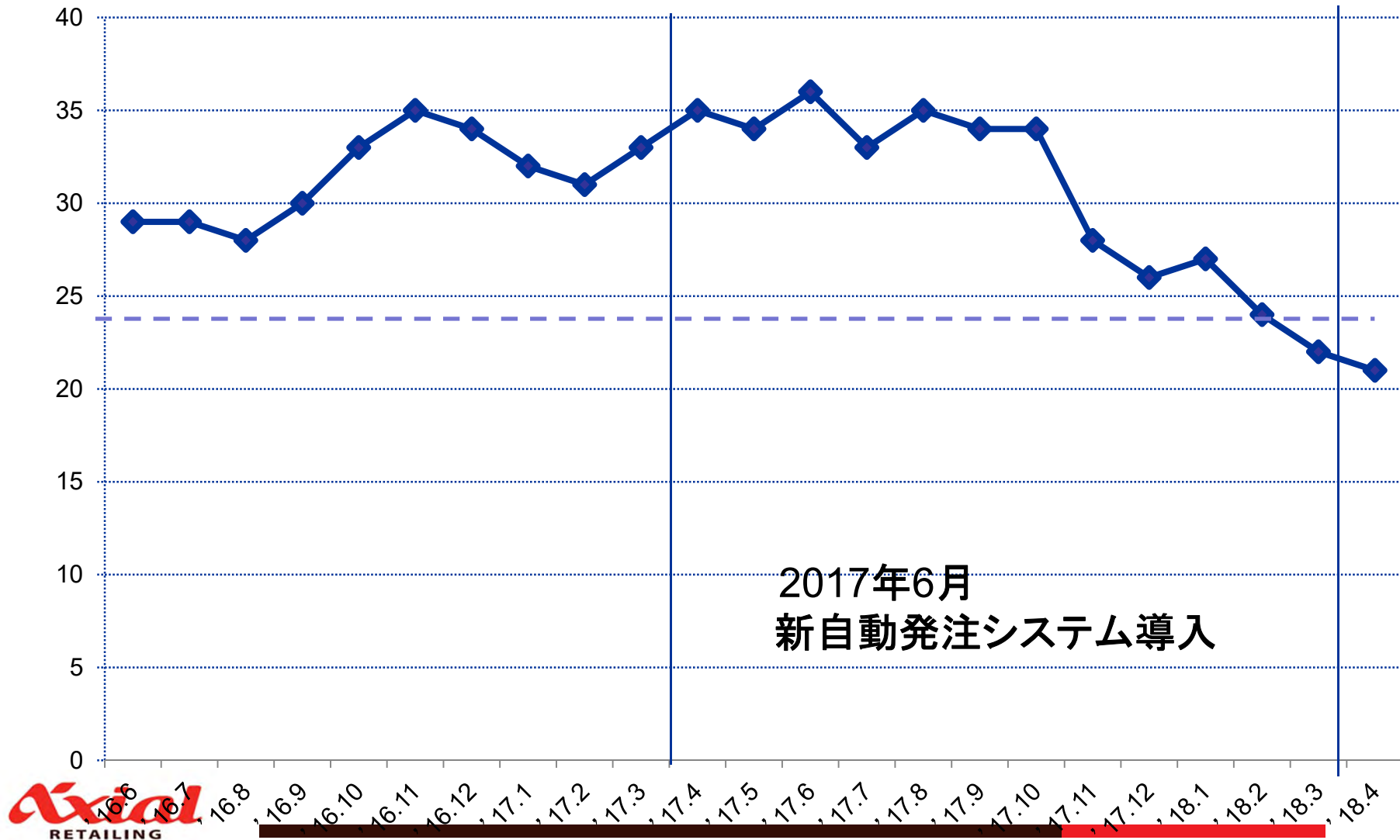
# フレッセイ 前橋物流センター 2016年10月より段階稼働





# フレッセイ 前橋物流センター

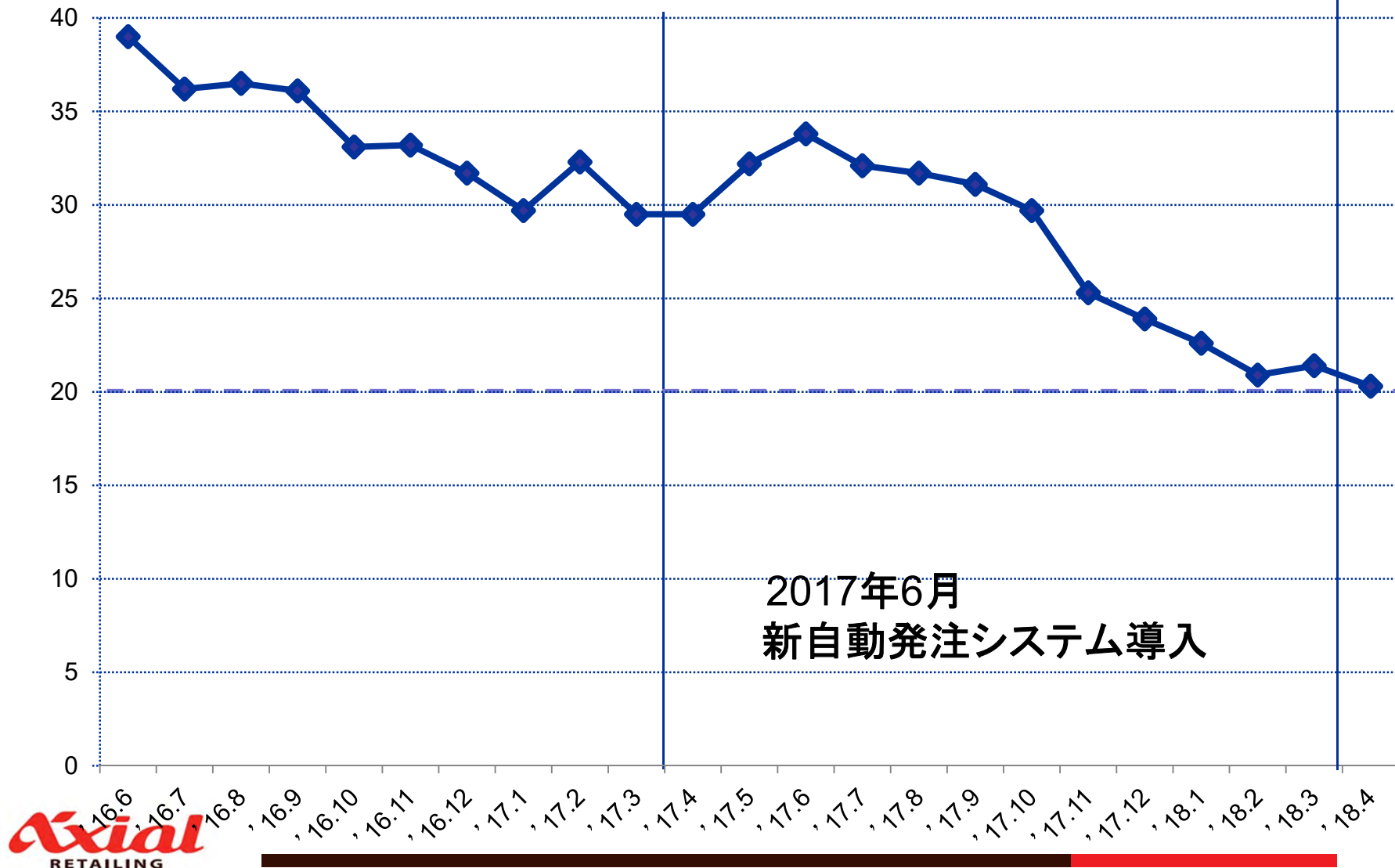
## 品切れ件数の推移（目標値：20件）





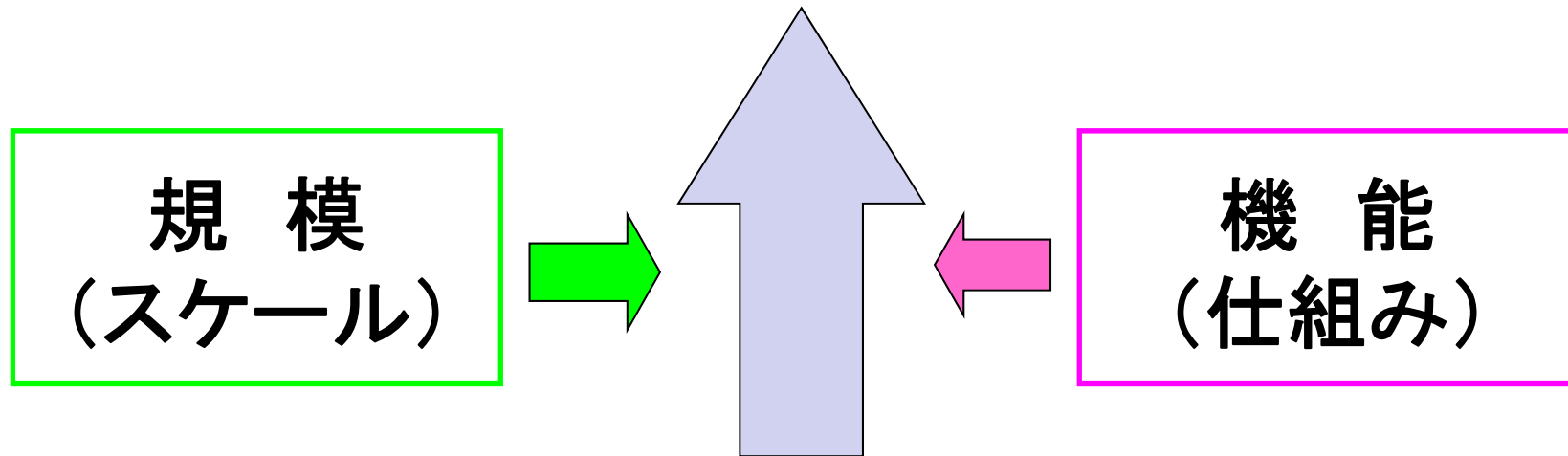
# フレッセイ 前橋物流センター

## 後方在庫（カートラック台数）推移（目標値：20台）



## 2. アクシアルのめざすもの

チェーンストアによって  
お客様の毎日の生活に  
豊かさ、楽しさ、便利さを提供する



人材: 基盤はTQM

<ビジョン>

ローカルチェーンから

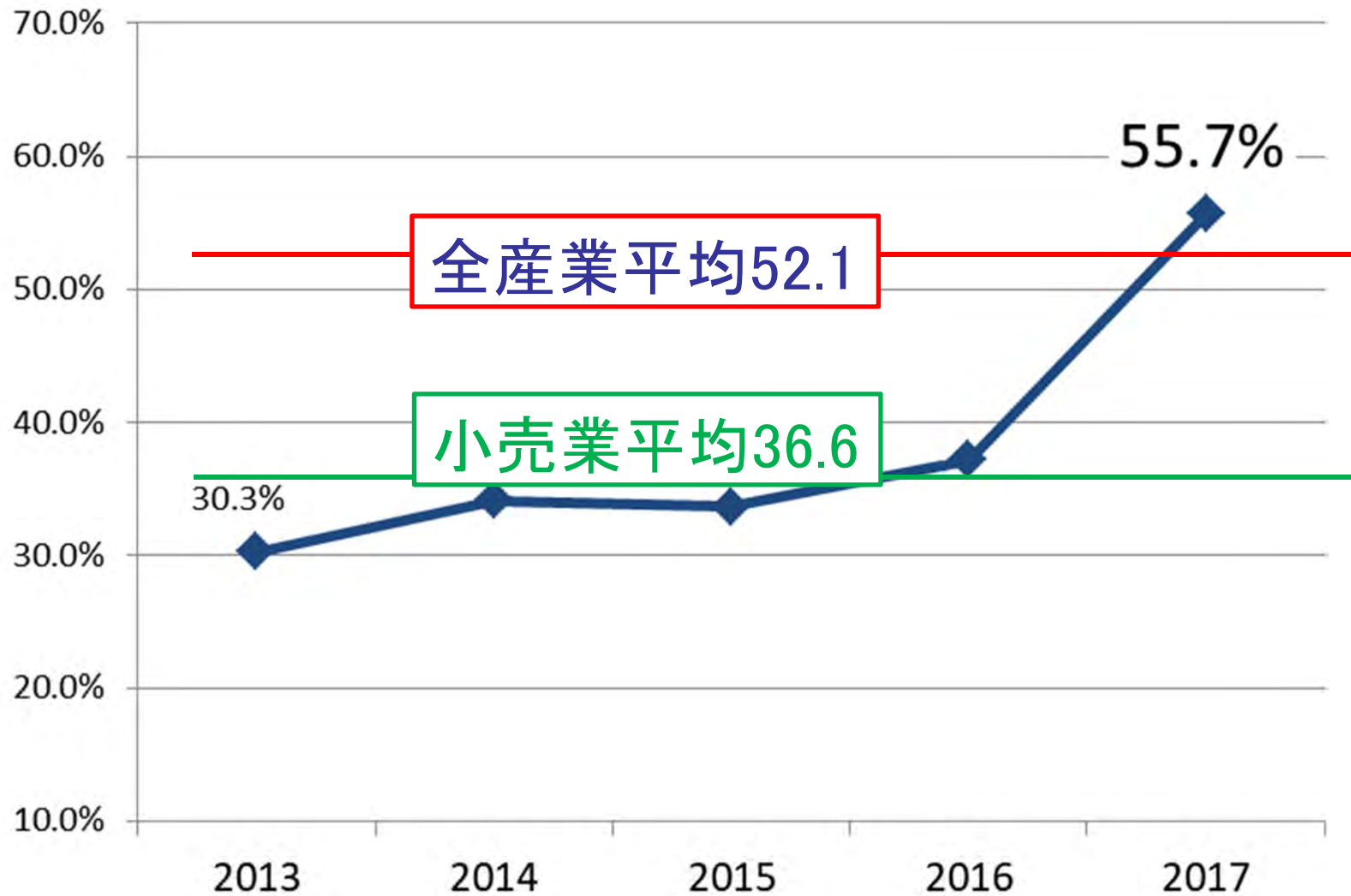
優良な広域チェーンへ脱却

I 日本一のサービス

II 200店舗構想

III 信頼構築

# 有給休暇取得率(原信ナルス)



# 中期経営計画(2018~2020)

## 1. 出店政策

- ・地域を絞って集中的に出店する戦略の深耕
- ・一定のスクラップ&ビルド(再配置)、改装の実施

## 2. 商品政策~原信ナルス、フレッセイ、それぞれの進化

- ・PBなど共有化の推進
- ・ESLPの推進

## 3. 店舗オペレーション

- ・LSP・ウィークリーマネジメントの推進、軌道化
- ・生鮮部門の作業割当、人員配置再編

## 4. 物流全体最適

- ・加工工場機能の拡充(PC・コミッサリー新設等)
- ・グループでの全体最適

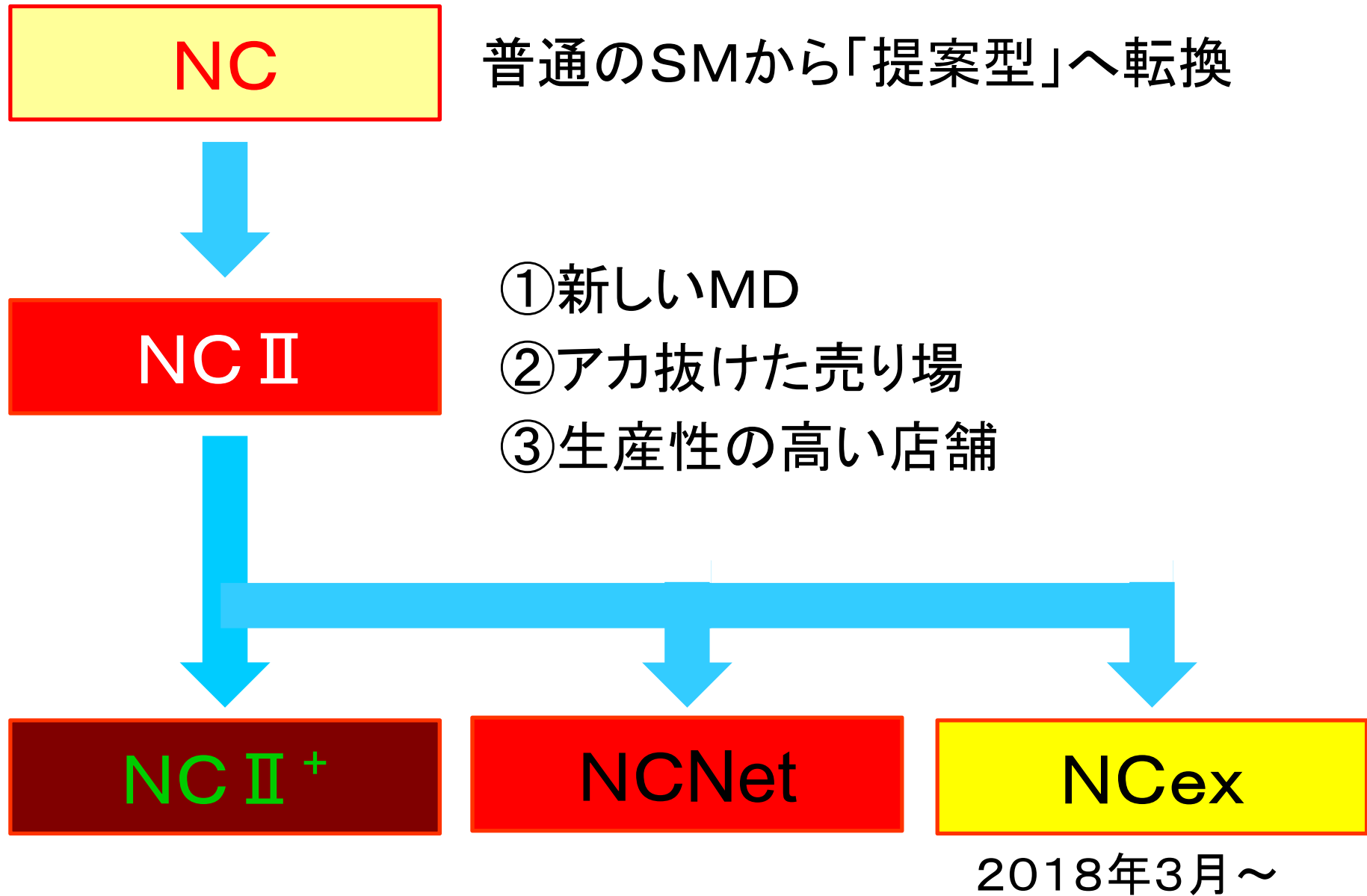


# 中期経営計画(2018~2020)

## 数値目標

	2018年度	2019年度	2020年度
売上高	2,328億	2,376億	2,450億
経常利益率	4.0%	4.0%	4.1%
開店	2	5	5
閉店	2	2	2
期末店舗数	129店舗	132店舗	135店舗
設備投資額	61億	44億	65億

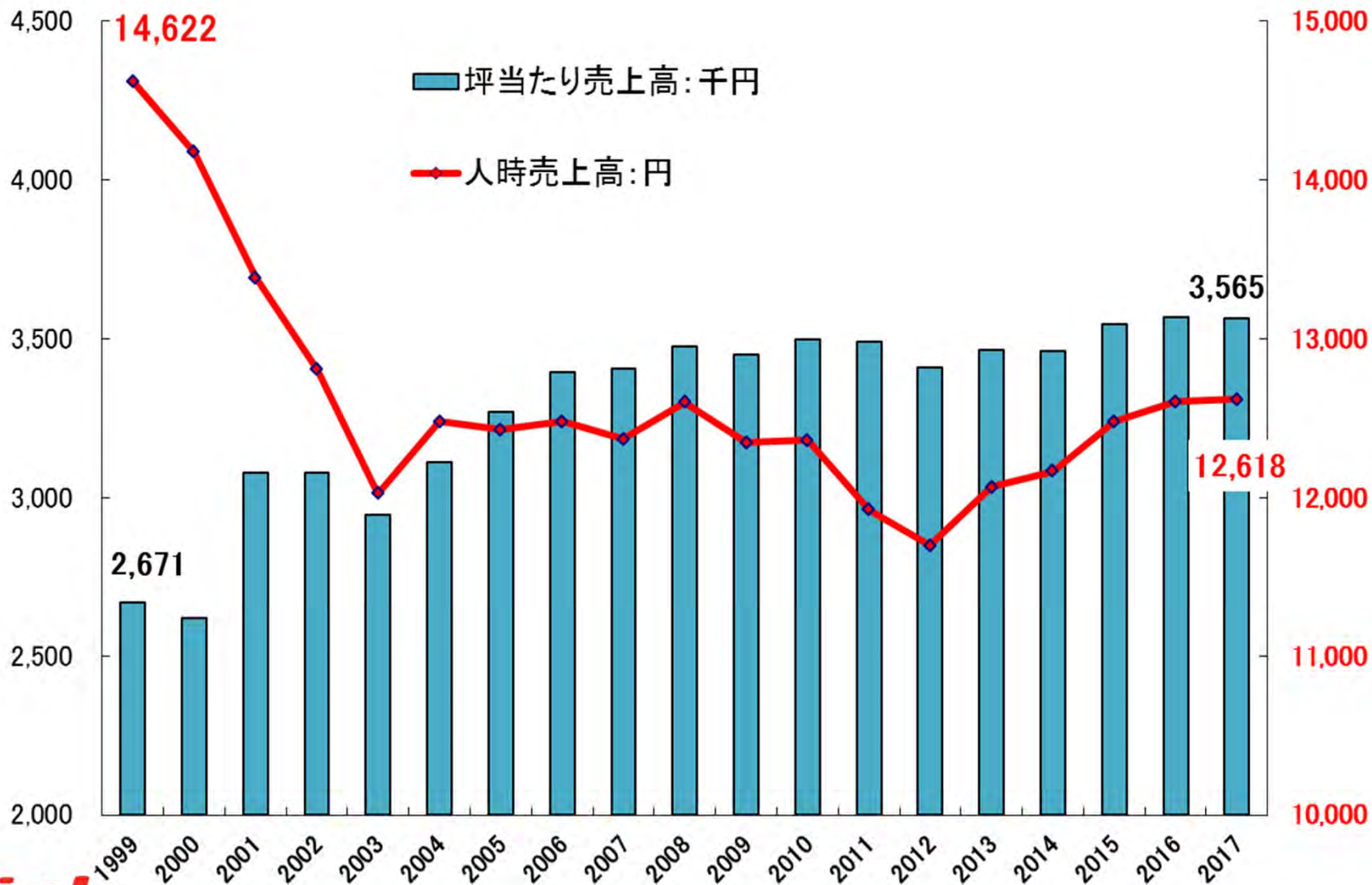
### 3. 原信ナルスのフォーマット(乗り物)



# 坪当たり売上高と人時売上高推移(原信)

坪当売上高  
(千円)

人時売上高  
(千円)



(1) NCⅡ、NCⅡ+では生産性改善が不十分  
品揃えの拡充は強みであり、弱点

多店舗出店：小商圈化、軽装備、高生産性

(2) 一方、これからのSMに必要な機能は？

× 小型化

(3) 健全な現状否定

**新たなSM創りに挑戦！**

# express market に込める想い

簡便

快適

生産性



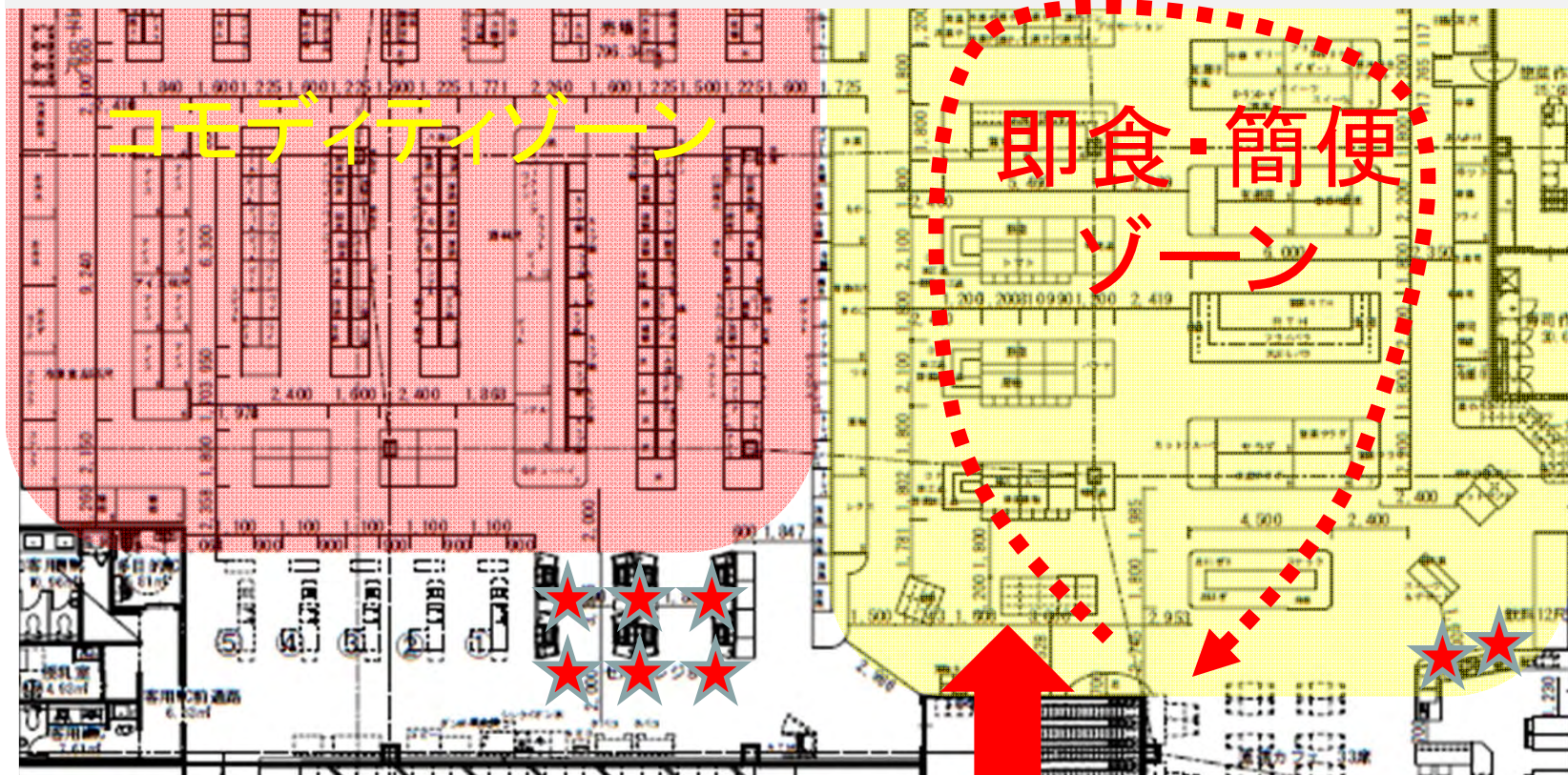
手早く、パッと買い物できるお店  
(コンパクト+回りやすいレイアウト)



手早くおいしい食事を楽しめるお店  
(即食強化+売場集約)

# Express market ならでは

「すぐ食べるもの」(⇔あとで調理するもの)  
をお求めのお客様にとって、  
従来の半分のエリアでお買い物が済む。



# Express market 城岡店



NC

普通のSMから「提案型」へ転換

NC II

- ①新しいMD
- ②アカ抜けた売り場
- ③生産性の高い店舗

NC II<sup>+</sup>(セントラルマーケット)





# かつ重

おいしいわけ

- ◆かつおの一番だし使用 ◆旨味成分たっぷりの地養卵使用
- ◆カツ鍋をつかって一つずつ手作り

# だし香る

「だし」で塩味をおさえ、  
うまみを引き出しました。

# だし香る

「だし」で塩味をおさえ、  
うまみを引き出しました。



# ひじき煮

おいしいわけ

- ◆「熟成カツオ厚削り」1番だし使用。  
そこへ椎茸、鶏だし、あごだしを加えじっくり炊き上げ。

# だし香る

「だし」で塩味をおさえ、  
うまみを引き出しました。



ひじき煮



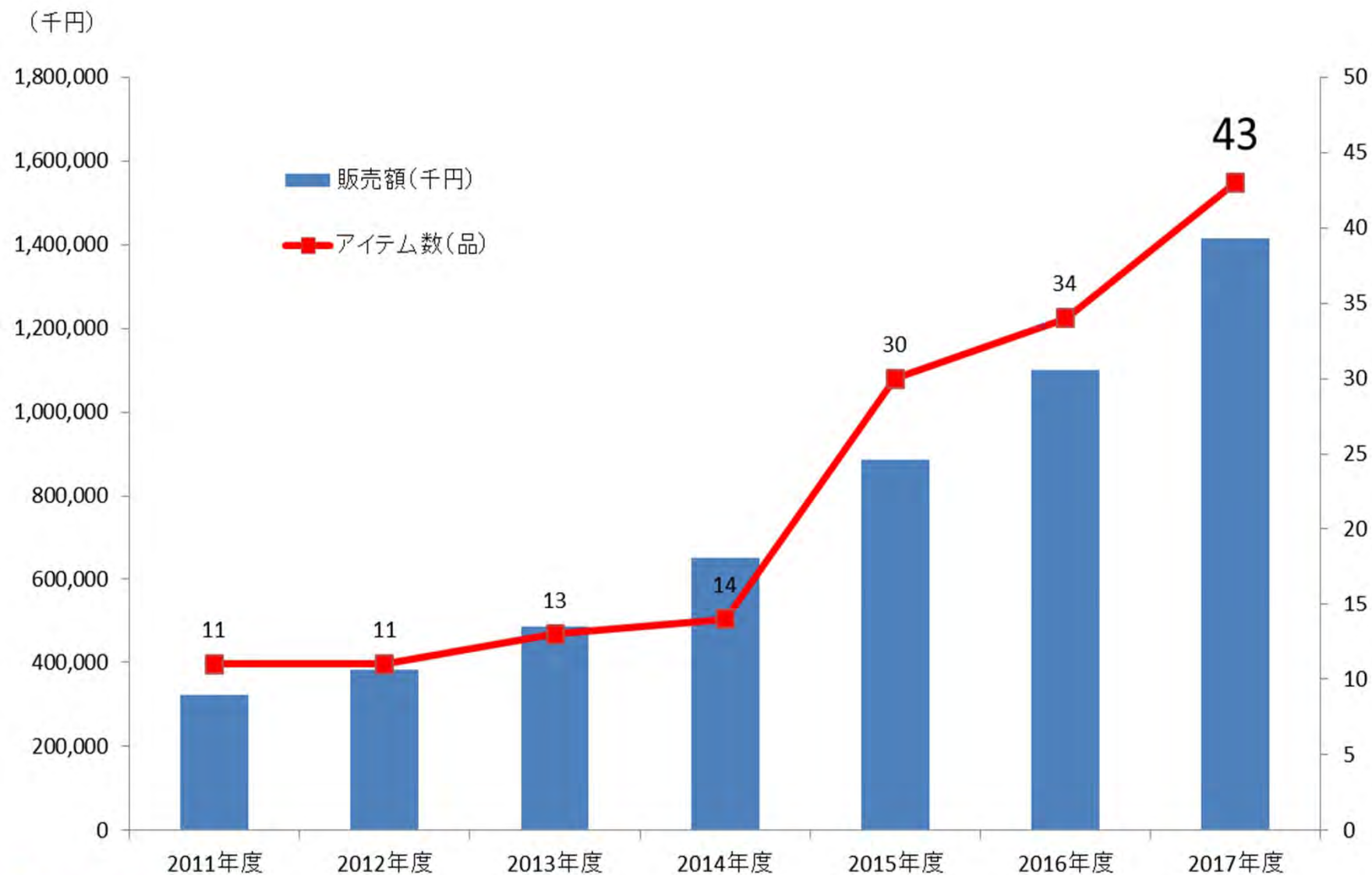
おいしさは  
だしのちから



かつ重

# だし香るシリーズ 販売推移

(品)



おかげさまで50周年  
**50TH** Anniversary  
Harashin



# だしシリーズ

(品)  
「だし」で塩味をおさえ、  
うまみを引き出しました。



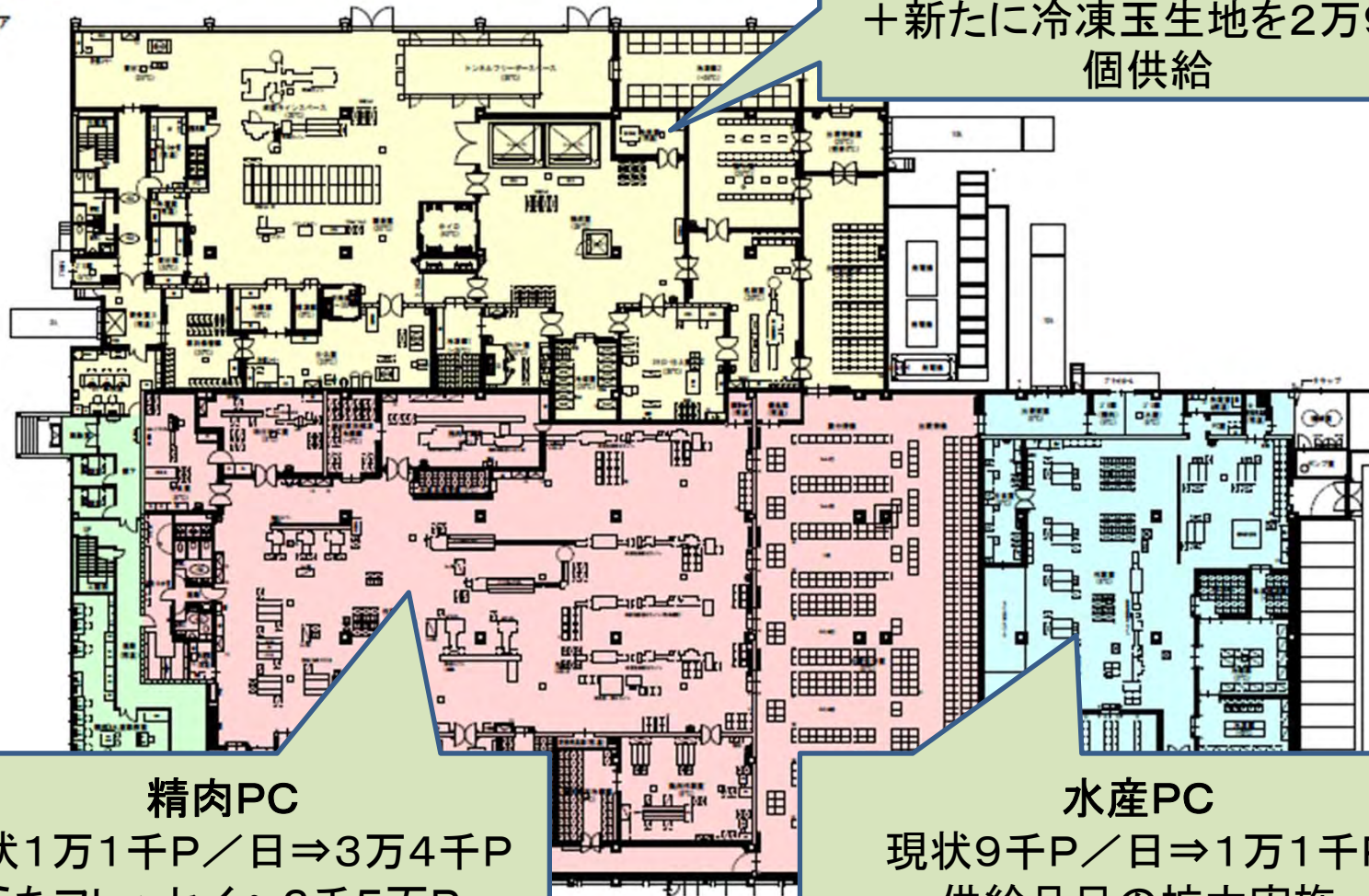
# 4. ローリープロセスセンター新設



# ローリー中之島プロセスセンター

9月稼働 1F工場部分 1,551坪

- 精肉エリア
- 水産エリア
- ベーカリーエリア
- 共用エリア



**ベーカリーPC**  
焼成品現状4千個／日⇒8千個  
+新たに冷凍玉生地を2万9千  
個供給

**精肉PC**  
現状1万1千P／日⇒3万4千P  
うちフレッシュへ2千5百P

**水産PC**  
現状9千P／日⇒1万1千P  
供給品目の拡大実施

# 5. 今期業績予想

(金額単位:百万円)

項目	連結	増減率	グループ別の目安			
			HN	増減率	F	増減率
売上高	233,000	+0.1%	159,990	+0.2%	73,607	△0.3%
営業利益	9,100	+0.4%	6,685	△1.8%	2,422	+9.9%
経常利益	9,200	△0.1%	6,747	△2.4%	2,413	+8.6%
純利益	6,000	△1.2%	4,631	△2.0%	1,636	+9.0%
開店	3		2		1	
1株当配当	70円	—	設備投資計画額61億、減価償却費42億			

予測前提	2018年3月期 実績			2019年3月期 予想		
	(上期)	(下期)	(通期)	(上期)	(下期)	(通期)
全店	+1.6%	+1.9%	+1.7%	+0.9%	△0.3%	+0.3%
既存店	△0.5%	+0.1%	△0.2%	△0.6%	△0.8%	△0.7%
1品単価100.0 点数100.3 →客単価100.3						



いい暮らし、いいあした。

***Axial***  
**RETAILING**

***Axial***  
RETAILING